

☆大腸内視鏡検査について☆ お名前 年 月 日

検査前に1.肛門、直腸、S状結腸、下行・横行・上行結腸、盲腸までを観察し、必要があれば、細胞採取(生検)検査を行います。

その場で切除可能なポリープは切除、

即ち、ポリペクトミーや粘膜切除(EMR)といった治療も可能です。

但し、開腹しない外科手術と同じですので、

最低1週間の安静と、食事の制限が必要です。

前処置について 7日あるいは3、4日前から、残渣として残りやすい、キャベツ・

レタス・白菜・ごぼう・れんこん・ねぎ・たまねぎ・にんじん・

もやし・かぼちゃ・トマトなどの繊維質の多い野菜、

きのこ、海草類、果物・豆類・ゴマ・とうもろこしなどの

粒々のある物は召し上がらないようにしてください。

血圧、心臓のお薬は、午前の検査の時は休薬になる事があります。

血液を固まりにくくするお薬は、休薬が必要になる事があります。

観察のみ/生検/出血のリスクありに応じて パナルジン、プラビックスは休薬なし
/アスピリン・プレタール置換/5から7日前から休薬、

バイアスピリン、バファリン81は休薬なし /プレタール置換/3から5日前から休薬、

プレタール・エパデール・ドルナー・アンプラーグ・コメリアン・ロトリガ・

オパールモン・プロレナール・プロサイリン・ペルサンチン・

コメリアン・ロコルナールは休薬なし/1日前から休薬、

ワーファリンは治療域内確認後休薬なし/ヘパリン置換必要、

プラザキサ・イグザレルト・リクシアナ・エリキューズは休薬なし/24時間

休薬/リスクによりヘパリン置換必要、となります。

糖尿病の薬は使用せずにおいでください。詳しくは、ご相談ください。検査 日前から

昼間の時間帯は、水分をたっぷり飲んで、眠前に下剤:ビーマス6錠を

飲んでください。ジメチコン40mgを1日3回、検査直前()まで内服。検査前日

昼間の時間帯は、水分をたっぷり飲んで、眠前に下剤:ビーマス6錠と

ピコスルファート10mlをコップに全量入れ、お水を追加して飲んでください。検査当日

2.当日は朝食からお食事は召し上がらずに、水分はたっぷり飲んでください。

モビプレップ(経口腸管洗浄剤)を朝 時から10-15分毎に、180-200ml

のコップで2杯と水あるいはお茶を1杯、2時間かけて飲んで下さい。

途中から下痢が始まり、最後は黄色い透明な下痢便になれば

前処置終了。モビプレップは残渣といっしょに、そのまま排出されるので、脱水予防で、ウーロン茶、緑茶、麦茶、ポカリ、OS-1を飲んでください。
ビーマス(一般名:カサンスラノール, ジオクチルソジウムスルホサクシネート)
ガスコン(一般名:ジメチコン)

血液を固まりにくくするお薬は、休薬が必要になる事があります。
パナルジン、フラビックスは休薬なし
/アスピリン・プレタール置換/5から7日前から休薬、

バイアスピリン、バファリン81は休薬なし /プレタール置換/3から5日前から休薬、

プレタール・エパデール・ドルナー・アンプラーグ・コメリアン・ロトリガ・
オパルモン・プロレナール・プロサイリン・ペルサンチン・
コメリアン・ロコルナールは休薬なし/1日前から休薬、

ワーファリンは治療域内確認後休薬なし/ヘパリン置換必要、

プラザキサ・イグザレルト・リクシアナ・エリキュースは休薬なし/24時間
休薬/リスクによりヘパリン置換必要、となります。

- 3.当院では、苦痛軽減のため、コンシャス・セデーションといって、
鎮静剤を静脈注射して、意識レベルを落としてから検査施行します。
その時の条件で、軽く意識レベルが低下する場合から熟睡まであります。
従って、検査後の乗り物の運転・ご予約は、お控えください。

検査後

- 4.検査後、(時 分)から飲水・食事可能です。
生検検査、ポリペクトミーや粘膜切除(EMR)を行った場合は、
(時 分)から、食事が可能となります。
生検検査、ポリペクトミーや粘膜切除(EMR)を行った方は、最低1週間は
アルコール、タバコ、辛い物、味の濃い物、脂っこい物、消化に悪い物は
やめて、柔らかく消化のよい物を召し上がってください。
ほとんど可能性はないですが、我慢できない腹痛、
血液が、おしりから出ることがあるかもしれません。
特に、ポリペクトミーや粘膜切除(EMR)を行った場合、
合併症として出血、腸管穿孔があります。
出血は必ず止血できます。
穿孔は緊急手術の可能性がありますが、
最善の注意を払い、慎重に検査・治療を行いますので、 ご心配な時は、ご連絡ください。

大腸内視鏡承諾書 年 月 日 お名前

うしくぼ消化器・内科クリニック 045-222-9533